

| | | | | |
|--|---|--|-------------|---------|
| ふりがな 氏 名 | なかがわ りき 中川 理季 | | 専 攻 | 社会学 |
| | | | 指導教授 | 三浦耕吉郎教授 |
| 研究領域 | 人権・差別論 社会調査法 社会福祉政策 ソーシャルワーク | | | |
| 研究題目 | 京都府・市における同和問題と隣保事業・(隣保事業の実践)の社会学的研究 | | | |
| 所属学会 | 日本解放社会学会 日本社会学会 福祉社会学会 | | | |
| 学 歴 (学部入学から) | 1. 2004年4月 大谷大学文学部社会学科入学 2. 2008年3月 大谷大学文学部社会学科卒業 3. 2011年4月 佛教大学博物館学芸員課程入学 4. 2013年3月 佛教大学博物館学芸員課程修了 5. 2013年4月 佛教大学大学院修士課程入学(社会学研究科社会学専攻) 6. 2015年3月 佛教大学大学院修士課程修了(社会学研究科社会学専攻) 7. 2016年4月 佛教大学大学院博士後期課程入学(社会学研究科社会学専攻) 8. 2017年3月 佛教大学大学院博士後期課程依願退学(社会学研究科社会学専攻) 9. 2017年4月 関西学院大学大学院博士課程後期課程編入学(社会学研究科社会学専攻) 10. 2019年3月 関西学院大学大学院博士課程後期課程単位取得満期退学(社会学研究科社会学専攻) 11. 2019年4月 関西学院大学大学院社会学研究科大学院研究員(～2022年3月) | | | |
| 教 歴 担当授業科目 | 1. 2017年7月20日 龍谷大学ゲストスピーカー 科目:「人権論A」 2. 2018年1月11日 龍谷大学ゲストスピーカー 科目:「人権論A」 3. 2017年9月～2018年3月 関西学院大学社会学部TA 科目:「質的調査法2」 4. 2018年4月 関西労災看護専門学校非常勤講師 科目:「社会学」(春学期)(現在に至る) 5. 2019年4月 鳥取大学地域学部非常勤講師 科目:「地域社会論」(春学期・一部担当)(現在に至る) 6. 2019年9月～2020年3月 関西学院大学社会学部TA 科目:「障害学」 7. 2020年4月～2020年9月 関西学院大学社会学部TA 科目:「インターメディアイト演習15」 8. 2020年9月～2021年3月 関西学院大学社会学部非常勤講師 科目:「質的調査法2(社会調査特論D・社会調査特殊研究D合併)」 9. 2020年10月～2021年3月 長崎県立大学非常勤講師 科目:「フィールド調査法」 10. 2021年4月 関西学院大学社会学部非常勤講師 科目:「基礎演習A」(現在に至る) 11. 2021年4月 関西学院大学社会学部非常勤講師 科目:「基礎演習B」(現在に至る) 12. 2021年9月 関西学院大学社会学部非常勤講師 科目:「質的調査法4」(現在に至る) 13. 2022年4月 龍谷大学非常勤講師 科目:「人権論A」(現在に至る) | | | |
| 研 究 業 績 | | | | |
| 著書、論文、翻訳、研究報告等題名 | 発 表 年 月 | 掲載誌または発表場所 | 備 考 | |
| 山本崇記著『住民運動と行政権力のエスノグラフィ——差別と住民主体をめぐる(京都論)』 | 2022.3 | 人権問題研究 | 書評 | |
| 特別措置法失効後(2002年～)の同和問題と(隣保事業の実践)——京都市旧隣保館における指定管理者の活動と(隣保事業)の可能性 | 2022.2 | 学位論文(博士) | | |
| 住民ニーズと(隣保事業の実践)／隣保事業——京都市T同和地区における市民団体の住民への支援に着目して | 2021.9 | 第37回日本解放社会学会大会 | 査読無し・口頭発表 | |
| 地域社会における問題解決のための隣保館への専門家支援——京都府による「頼れる隣保館づくり」モデル事業」をふまえて | 2021.3 | ひょうご部落解放 179号 | 報告書 | |
| 同和地区における社会福祉事業をめぐる政治——京都市の隣保事業廃止に着目して | 2020.11 | 第18回福祉社会学会大会 | 査読無し・口頭発表 | |
| 〈隣保事業の実践〉と住民交流——京都市K同和地区の祭りの復活を事例として | 2020.7 | 研究紀要 第25号 (世界人権問題研究センター発行) | 研究ノート(査読有り) | |
| 現在の部落の「問題」と部落差別——支援者(隣保館等)・当事者・社会に着目して | 2020.1 | 山城地域隣保館連絡協議会・山城地域児童館連絡協議会合同研修会(講演会) | 研修講師 | |
| 特別法失効後の自治体による同和地区への取組みと部落問題の解決——京都市の隣保事業廃止とその後に着目して | 2019.9 | 第35回日本解放社会学会大会 | 査読無し・口頭発表 | |
| 京都市いきいき市民活動センター(旧隣保館)の指定管理者による支援と同和地区／部落差別——隣保事業からの(関係の転換)としての(隣保事業の実践)に着目して | 2018.9 | 第34回日本解放社会学会大会 | 査読無し・口頭発表 | |
| 日常的実践としての社会調査を通じた隣保館の構築 | 2018.7 | GLOBE No.94 | コラム | |
| 日常的実践としての社会調査を通じた隣保館の構築 | 2018.7 | 2018年度京都府隣保館連絡協議会 第2回隣保館職員等研修会 | 研修講師 | |
| 菅豊著『「新しい野の学問」の時代へ——知識生産と社会実践をつなぐために』 | 2018.4 | 京都部落問題研究資料センター通信 第51号 | 書評 | |
| 「よそ者(指定管理者)」による(隣保事業の実践)と同和地区——京都市S地区における部落問題の複数のリアリティ | 2018.3 | 解放社会学研究 31 | 論文(査読有り) | |
| 同和地区で進む社会実験 | 2018.3 | KG社会学批評 第7号 | コラム | |
| 「よそ者」による同和地区の「ネットワークの開放」——京都市N地区の事例より—— | 2018.3 | 人権問題研究叢書16『問いとしての部落問題研究——近現代日本の忌避・排除・包摂』 | 論文(査読無し) | |
| 旧隣保館の地域外出身の指定管理者による(隣保事業の実践)と同和地区——京都市の事例から—— | 2017.11 | 第90回日本社会学会大会 | 査読有り・口頭発表 | |

| 研 究 業 績 | | | |
|--|---------|--|-----------|
| 著書、論文、翻訳、研究報告等題名 | 発 表 年 月 | 掲載誌または発表場所 | 備 考 |
| 「よそ者(指定管理者)」による〈隣保事業的実践〉と同和地区 —京都市S地区における部落問題の複数のリアリティ— | 2017.3 | 佛敎大学社会学研究会 | 査読無し・口頭発表 |
| それぞれの現実の交差に向けて —京都市いきいき市民活動センターの事業より— | 2017.1 | GLOBE No.88 | コラム |
| 京都市いきいき市民活動センターと地域住民 | 2016.11 | 世界人権問題研究センター 研究第2部近現代・現状班研究会 | 査読無し・口頭発表 |
| 同和地区と「よそ者」—京都市いきいき市民活動センター (旧隣保館)における指定管理者の役割にふれて | 2016.9 | 第32回日本解放社会学学会大会 | 査読無し・口頭発表 |
| 「よそ者」による同和地区の「ネットワークの開放」 —京都市N地区の事例より— | 2016.8 | 世界人権問題研究センター 研究第2部近現代・現状班研究会 | 査読無し・口頭発表 |
| 人間の変革とよそ者の客観性 —京都市同和地区を事例に— | 2016.6 | 佛敎大学社会学研究会 | 査読無し・口頭発表 |
| 「文化」をベースとする「よそ者」のまちづくり —京都市S同和地区で活動するI氏の語りを中心に— | 2016.3 | 佛敎大学大学院紀要社会学研究科篇 第44号 | 論文(査読有り) |
| 京都市の同和地区におけるコミュニティ形成の主体—S同和地区 のまちづくり組織の取組と主観的意味世界から考える— | 2014.11 | 世界人権問題研究センター 研究第2部近現代・現状班研究会 | 査読無し・口頭発表 |
| 新たなコミュニティの模索 —京都市内の同和地区におけるコミュニティ形成の主体 | 2014.9 | 部落問題若手研究者交流会 | 査読無し・口頭発表 |
| 千本におけるまちづくり | 2012.7 | 佛敎大学総合研究所一般研究「大学と地域の協働による 共生(ともいき)のまちづくり～大学をコアとしたソーシャル・ キャピタルの構築～」共同研究班研究会 | 査読無し・口頭発表 |